

6 本時のねらい

購入した商品に欠陥がある場合にどのように行動するかを考える活動を通して、消費者には権利が保証されているだけでなく、果たすべき責任があることや、消費者の行動により商品が改善され、より安全で安心して生活できることを理解することができる。

7 本時の展開（7／9時）

過程	生徒の主な学習活動	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて	留意点等							
課題設定	1 買い物で失敗したと思った時、どのような行動をとるかについて話し合う。 ・イヤホンが、買ってすぐに音が出なくなって、捨ててしまったことがある。 ・ボールペンのインクが出なくて、捨てた。 ・Tシャツを1度洗濯したら色落ちしたので、返品した。	【主体的な学び】 生活や社会の中から課題を設定 誰もが経験したことがあるであろう場面を想起させ、どう行動していくとよいかという課題意識をもたせる。	・安い商品を購入した場合、安価であるがために、すぐに壊れても「仕方ない」とあきらめがちである状況を生徒が自覚できるようにする。							
	課題：購入した商品に問題があると分かった時、私たちはどのように行動していくとよいだろう。									
課題追究	多機能ボールペン（4色＋シャープペン機能）が必要であったため、お店に買いに行った。いくつかの商品がならんでいたが、「書き味がよい」と宣伝されているものを購入した。自宅に戻ってさっそく使ってみると、赤のインクのボールペンだけインクがうまく出てこず、書き味が悪かった。									
	2 購入した商品に問題があった場面において、自分ならどのように行動するかを考え、交流する。	【対話的な学び】 事象と対話（個人） 多機能ボールペンに不具合があった場合を想定し、自分に起きたこととして考える。どのように行動するかだけでなく、その理由まで考えられるようにする。	工夫・改善点 生徒にとって身近で、購入経験がある文房具を取り上げ、考えさせる。 工夫・改善点 ・場面に対する自分の考えをプリントに記入する。自分の立場をはっきりさせてその理由を話すことで、「見方・考え方」を明らかにする。 ・机間指導でつかんでおいた「見方・考え方」を引き出すため、指名し、話し合いを組織する。							
	<table border="1"> <tr> <td>経済</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> もったいないから、返品する。 代金を支払ったのだから、お店に伝えて、交換してもらう。 赤のインクだけ買って、安く済ます。 面倒だから、そのままにする。 </td> </tr> <tr> <td>品質</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> やっぱり、きちんとインクが出て書きやすいペンがいいから、交換してもらう。 </td> </tr> <tr> <td>環境</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 捨てるのはもったいないから、赤のインクだけを買えばいい。 </td> </tr> <tr> <td>協力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 他にも同じように困っている人がいるかもしれないから、伝えた方がいい。 クレーマーだと思われたくないから、そのままにする。 </td> </tr> </table>	経済	<ul style="list-style-type: none"> もったいないから、返品する。 代金を支払ったのだから、お店に伝えて、交換してもらう。 赤のインクだけ買って、安く済ます。 面倒だから、そのままにする。 	品質	<ul style="list-style-type: none"> やっぱり、きちんとインクが出て書きやすいペンがいいから、交換してもらう。 	環境	<ul style="list-style-type: none"> 捨てるのはもったいないから、赤のインクだけを買えばいい。 	協力	<ul style="list-style-type: none"> 他にも同じように困っている人がいるかもしれないから、伝えた方がいい。 クレーマーだと思われたくないから、そのままにする。 	【対話的な学び】 他者と対話（全体交流） 「経済」「環境」「使いやすさ」「協力」の「見方・考え方」を働かせながら、問題解決に向けてどう行動するか、その理由を交流することで、自分の考えを広げ深めていく。
経済	<ul style="list-style-type: none"> もったいないから、返品する。 代金を支払ったのだから、お店に伝えて、交換してもらう。 赤のインクだけ買って、安く済ます。 面倒だから、そのままにする。 									
品質	<ul style="list-style-type: none"> やっぱり、きちんとインクが出て書きやすいペンがいいから、交換してもらう。 									
環境	<ul style="list-style-type: none"> 捨てるのはもったいないから、赤のインクだけを買えばいい。 									
協力	<ul style="list-style-type: none"> 他にも同じように困っている人がいるかもしれないから、伝えた方がいい。 クレーマーだと思われたくないから、そのままにする。 									
課題解決	3 消費者の8つの権利と5つの責任を知り、どう行動するとよいかを考える。 ・批判的意識をもつ責任から、宣伝をうのみにせず、事前に情報を集めて確かめるとよい。 ・主張し行動する責任から、お店に伝えていくとよい。 ・意見を反映させる権利、補償を受ける権利から、事実を伝え、改善してもらったり、交換してもらったりするとよい。	【深い学び】 生活とのつながりの実感 消費者の権利や責任が、身近に行われていることを知る。	工夫・改善点 消費者の声で変わった商品を知り、消費者の権利と責任を深く理解する。							
	4 消費者の行動により、商品が改善された例を知る。 ・消費者が責任を果たすことで、商品がよりよく改善されているのだな。	■授業後の意識 これまで、買った商品に問題があっても、面倒くさいという気持ちやこれくらいいいやという気持ちから、我慢したり、捨ててしまったりしてしまいました。けれど、消費者には8つの権利と5つの責任あり、行動することで、商品を改善していくことにつながることがわかりました。それは、自分が損をしないためだけでなく、よりよい商品を増やすため、今後は商品を買う前に、宣伝文句が真実なのか疑ってみたり、商品に問題があるときには、企業に伝えたりして、消費者としての責任を果たしていきたいです。	■評価の観点 【知識・理解】 消費者としての責任を果たすことで商品が改善され、よりよい消費生活をつくりだすことができることを理解することができる。 ■評価の根拠 ワークシート・発言内容							